

プレスリリース

新規 HIV 感染件数が 2020 年ターゲットより 100 万人も多かったことから、 UNAIDS とパートナー組織が HIV 予防に関する緊急会議を開催

正確な予防プログラム目標の設定を確認するため、HIV 対策分野の専門家と実施担当者が南アフリカで開かれる会議に参加

ヨハネスブルク/ジュネーブ 2022 年 10 月 10 日 HIV の新規感染が増加している国・地域・都市は、世界中で驚くべき数に達している。2021 年の新規 HIV 感染件数は年間 150 万件に達し、2020 年の達成目標だった年間 50 万件を 100 万件も上回っている。UNAIDS とパートナー組織は新規感染率が最も高い 28 カ国から HIV 予防対策の専門家と実施担当者を集め、新規感染予防対策の支援会議を開催した。感染を大きく減らせない原因をさぐり、解決策を検討して野心的な予防目標を設定するためだ。

世界の新規 HIV 感染の 4 分の 3 を占める 28 カ国は、いずれも世界 HIV 予防連合のメンバーとなっている。この連合は 2017 年に設立され、各国政府、市民社会、ドナー、民間セクターが協力して、大規模かつ広範で公平な質の高い予防対策に取り組むことを約束している。また、そのために必要な資金を確保するとともに説明責任を果たせるようにすることを目指している。

3 日間にわたる会議では、HIV プリベンション 2025 ロードマップの前提となる各国のニーズを把握し、各国固有のマイルストーン（達成目標）を含めロードマップ実施段階での重要なステップを確認していく。また、予防連合として機能し、国境を越えた協力を進めるために必要となる戦略的な方向性を定めていくことになる。

この会議は極めて重要な時期に設定されている。UNAIDS の最新年次報告書『In Danger（危機の中で）』によると、2020 年から 2021 年にかけての新規 HIV 感染の減少率はわずか 3.6%だった。2016 年以降では最も低い年間減少率にとどまっている。2021 年には思春期の少女・若い女性（15-24 歳）25 万人が新たに HIV に感染していた。2 分間に 1 人の割合で新規感染が起きていたことになる。その 80% 以上がサハラ以南のアフリカからの報告だった。この地域では、思春期の少女と若い女性が HIV に感染する可能性は、同年代の男性より 3 倍も高くなっている。有害な社会規範や慣行、社会的・経済的不平等、ジェンダーの不平等など、複数の脆弱性が思春期の少女や若い女性の能力向上を妨げているのだ。

「予防活動の緊急性は、いくら強調しても強調しすぎることはありません」と UNAIDS のアン・ギトゥク・シヨングウェ東部・南部アフリカ地域事務局長は語る。「私たちにいまできることは、うまく機能している予防対策の規模拡大をはかりつつ、同時に少女やキーポピュレーションの人たちを新規 HIV 感染に対し脆弱な状態に追い込む社会的および構造的な障壁に注意を向けることです」

2021 年の UNAIDS 推計では、ゲイ男性など男性とセックスをする男性、薬物注射使用者、セックスワーカー、トランスジェンダーの人たち、刑務所やその他の閉鎖された環境にいる人たち、およびそれらの人たちの性的パートナーを含むキーポピュレーションが、世界の新規 HIV 感染の 70%を占めていた。このことは HIV 予防対策が、社会から排除されやすく、弱い立場に置かれている人たちに焦点を当てて進めなければならないことを示している。

「このロードマップは、いままでと同じやり方をしていたのでは実現できません」と UNAIDS のイーモン・マーフィー副事務局長代理（プログラム担当）はいう。「正直に言わなければなりません。新規 HIV 感染を抑えるには、政治的リーダーシップと投資、そしてキーポピュレーションに積極的に手を差し伸べる姿勢がもっと必要です」

各国が HIV のコンビネーション予防プログラムを拡大すれば、目覚ましい成果を収めることができる。たとえばコートジボワールでは、キーポピュレーションを対象にしたプログラムを初期段階で拡大し、同時に治療対象の範囲を広げたことで、2020 年の新規 HIV 感染は、2010 年当時より 72%も減少した。南アフリカでは、HIV 治療と自発的男性器包皮切除を拡大したことで 2020 年の新規 HIV 感染は 2010 年当時より 45%減少した。また、ケニアも同じアプローチにより HIV 感染率を 44%減らしている。

他の地域でも、キーポピュレーションのニーズに焦点を当ててコンビネーション予防プログラムを実施し、新規 HIV 感染が大幅に減った国がいくつかある。カンボジア、タイ、ベトナムでは、2010-2020 年の間に HIV 新規感染が 60%以上減少した。また、エルサルバドル、モルドバ共和国、スリランカでもほぼ半分に減少し成果の可能性を示している。

「各国間の関係を戦略的に強化し、経験を共有し、互いの強みを生かして新規感染を減らす。困難な作業ですが、絶好の機会でもあります」と南アフリカ国家エイズ委員会のディレクターであるセムビシレ・スル医師は語る。

2025 年までに世界の新規 HIV 感染者数を年間 37 万人に減らすという新たなターゲットに向けて各国がそれぞれ取り組んでいる。達成可能なターゲットではあるが、取り残されている人たちに手を差し伸べる努力が強化されなければ実現はしない。HIV 予防ロードマップは、各国のターゲット達成を助ける目的で作られた。そこには各国の対策を軌道に乗せるために必要な 10 項目の行動計画と各国に固有のマイルストーン（達成目標）が含まれることになる。新しい HIV 予防ターゲットは、優先順位を付けた HIV 予防サービスの包括的なパッケージを示し、HIV 感染のリスクに直面する人の 95%がそのサービスを利用できるようにするためのものだ。

南アフリカにおける会議は、世界 HIV 予防連合が UNAIDS、国連人口基金（UNFPA）、国家エイズ委員会フォーラム、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団の協力を得て招集した。